

Introduction

01

BANDとは？

「BAND」はグループコミュニケーションを効率化させるアプリです。グループでのお知らせや日程共有・出欠管理、さらには投票やトーク、ライブ配信と、さまざまな機能が利用でき、連絡の時間やコミュニケーションの手間をかんたんに省けます。

 BANDとは

「BAND」は、グループ活動における連絡と運営をかんたんにしてくれる無料アプリです。「重要なお知らせを見逃さないように確実に伝えたい」「メンバーたちの状況をひと目で確認したい」「複数のツールを使い分けず1つのアプリで連絡を一元化したい」といった、グループやチームの運営者がしばしば抱える悩みを解決してコミュニケーションを効率化できます。

グループメンバーとのメッセージはもちろん、カレンダーでのスケジュール管理や出欠確認、写真・動画・ファイルの共有、メンバーを指定した個別トークなど、グループコミュニケーションに特化した機能が充実しています。

2021年12月時点で、BANDアプリは世界中で1億ダウンロードを突破、約180カ国のさまざまなグループで利用されています。日本でも、スポーツ少年団、クラブチーム、オフィス、学校、PTAおよび教育関係、企業や団体、趣味サークル・習い事・教室など、さまざまなグループで活発に利用されています。

グループ運営・管理における効率性向上はもちろん、グループの特性や環境にあわせて利用できるBANDには多くの機能があります。本書ではBANDアプリのアカウント登録からBandグループの作成方法、「掲示板」「カレンダー」「出欠確認」「アルバム」「トーク」など基本機能の紹介、便利な使い方などを解説します。

●コミュニケーションサービス「BAND」



「BAND」(<https://about.band.us/jp>) は、グループやチームのコミュニケーションを効率化させる無料のサービスです。





BANDとメッセージアプリの違い

近年のおもなコミュニケーションツールには、「LINE」や「Facebookメッセージ」などのメッセージアプリが用いられています。「BAND」も一見「LINE」と同じようなサービスのように思えますが、「LINE」などが個々のコミュニケーションが中心であるサービスであるのに対して、「BAND」はグループでのコミュニケーションに特化した機能が充実しているサービスです。たとえば、BANDではメッセージ以外にも「出欠確認」や「カレンダー」の機能があり、グループコミュニケーションに必要な機能がBAND1つで完結できます。わざわざ、複数人との連絡や日程調整のためにいくつものサービスやアプリを使い分ける手間を減らせるのです。「チームやサークルなどでグループ運営を効率的にしたい」という場合は、「BAND」を利用しましょう。

●BANDとメッセージアプリの比較

	BAND	メッセージアプリ
特徴	「掲示板」をはじめとするさまざまな機能を使ったグループコミュニケーション。	プライベートの連絡からグループの連絡までがすべて「トーク」を中心としたコミュニケーション。
おもな機能	メンバー全員が確認できる「掲示板」、グループの予定をまとめて管理できる「カレンダー」、個別にメッセージを送信できる「トーク」など。	個別または複数人とやりとりができる「トーク」や「通話」、近況などを知らせる「タイムライン」など。
メリット	・グループのメンバーへの確実な情報伝達や予定の取りまとめなどに便利。 ・投稿やメッセージの既読確認だけでなく、カレンダーの共有や出欠確認、投票、アンケートと多機能。 ・電話番号やIDの交換、友だち登録など必要がない。	・リアルタイムに確認したい連絡や個人間のスムーズなやりとりに便利。 ・メッセージの既読数を確認できる。
デメリット	全メンバーがBANDアカウントを作成する必要がある（作成さえすれば、誰でも利用可）。	・情報が流れていきやすく、整理が難しい。 ・友だち登録やIDの交換が必要。
向いている人	グループのメンバー間の連絡や管理を効率よくして、より多くのメンバーに情報共有をしたい人。	個々の連絡を中心にすばやくかんたんなコミュニケーションを求める人。



Introduction

02

BANDだからこそ
できる機能とは？

BANDでは、メンバーへのお知らせやファイルの共有が可能な「掲示板」を中心とした、グループコミュニケーションを円滑にできるさまざまな機能が利用できます。ここでは、BANDの機能を使ってできることを紹介します。

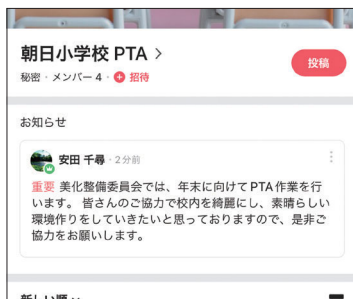
 グループメンバーと掲示板でやりとりができる

「BAND」の最大の特徴は、さまざまな投稿ができるメイン機能「掲示板」です。グループで大事なお知らせを投稿しても、メッセージアプリのトークでは日々大量のやりとりをすることで情報が埋もれてしまうことがあります。一方「BAND」の掲示板では、大事なお知らせをグループ画面のトップに固定したり（Sec.30参照）、おすすめタグ（ハッシュタグ）を使って投稿のカテゴリを分類したりすることができるため（Sec.81参照）、情報を見逃してしまう心配がありません。さらに掲示板での投稿には、テキストメッセージだけでなく、写真や動画の共有（Sec.22参照）、投票フォームの作成（Sec.24参照）、ファイルの共有（Sec.25参照）、予定の追加（Sec.36参照）、さらにはライブ配信（Sec.35参照）まで、さまざまな機能を添付できます。また、掲示板の投稿は、既読数だけでなく既読／未読のメンバーも確認でき（Sec.69参照）、未読のメンバーには個別のリマインドも可能です。

● 一斉に情報を共有できる



● 重要なお知らせを固定できる



掲示板は、学校やPTAなど、多くのメンバーに一斉に情報を共有したい場合に便利です。重要なお知らせをグループ画面のトップに固定表示させたり、投稿の未読メンバーを確認できたりするので、伝達ミスを防げます。



カレンダーでグループのスケジュール管理ができる

「カレンダー」は、グループでの予定作成や管理に役立ちます。予定を登録する際には内容の説明だけでなく、写真やファイル、地図を添付することもできるため（Sec.36、37参照）、掲示板で「〇月〇日に〇〇をする」「〇〇を事前に確認する」「〇〇に集合する」といった情報を掲示板などでわざわざ伝える必要がありません。また、設定したタイミングで通知を送信してくれる機能や（Sec.40参照）、グループのトップ画面に直近の予定を固定表示してくれる機能（Sec.43参照）も用意されています。一旦登録した予定を変更すると、メンバー全員に変更をお知らせする通知をリアルタイムで送信できるため、メンバーへの連絡の頻度を最小限に抑えられます。そして「BAND」に登録した予定は、AppleカレンダーまたはGoogleカレンダーに保存したり（Sec.36参照）、外部カレンダーにエクスポートしたりすることも可能で（Sec.45参照）、プライベートの予定もあわせて管理がしやすくなります。

● グループの予定がひと目で確認できる



● 出欠確認ができる



● 予定に写真などを添付できる



● 事前通知やリマインドができる



クラブやサークルなど、グループ共通の予定管理にはカレンダーを利用しましょう。登録する予定には写真やファイルを添付したり、そのイベントの出欠確認を作成したりできます。また、外部カレンダーとの連携も可能です。



写真や動画の共有・アルバムの作成ができる

掲示板の投稿、そしてトークでは、テキストだけではなく写真や動画の共有もかんたんにできます（Sec.22、49参照）。掲示板で共有した写真や動画はBandグループの「アルバム」から一覧で確認でき、「食事会」「歓迎会」「旅行」「合宿」などのイベントごとに名前を付けてフォルダ分けすることも可能です（Sec.23参照）。アルバムで共有した写真や動画は、グループの誰でもダウンロードができます。なお、一度にアップロードできる写真の数は最大100件、動画は最大10件です。

●写真や動画を共有できる



●アルバムに保存される



●アルバムをフォルダで整理できる



●リアクションやコメントも可能



部活・スポーツのグループ、家族グループ、趣味グループなど、写真や動画を共有する機会の多いグループでは、アルバムをフォルダで整理して思い出を見やすく残しましょう。作成したフォルダには、あとからでも写真を追加できます。

ファイルの共有ができる

掲示板やカレンダー、トークなどでは、グループに必要なファイルを添付して共有できます（Sec.25、37参照）。文書ファイル、画像ファイル、音源ファイル、動画ファイル、zipの圧縮ファイルなど、共有可能なファイル形式はさまざま、パソコンからブラウザ版の「BAND」を利用すれば、パソコンで作成したWord、Excel、PowerPoint、PDFファイルの共有もかんたんです。共有したファイルはグループのメンバー全員が閲覧できるほか、スマートフォン内やクラウドサービス内への保存も可能です。すべての共有ファイルは「添付一覧」に一覧で表示され、アルバムと同じようにフォルダを作成してわかりやすくファイルを管理することもできます（Sec.31参照）。

● ファイルを共有できる



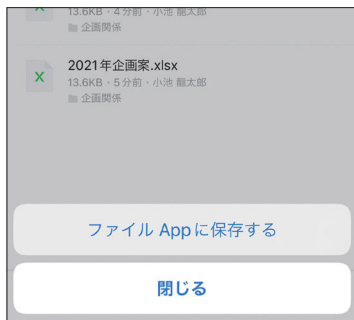
● 添付一覧に保存される



● ファイルをフォルダで整理できる



● ファイルの保存も可能



企業や団体、店舗など、書類やOfficeファイルなどの共有が多いグループでは、フォルダを活用して重要なデータをしっかり管理しましょう。あとからグループに入ったメンバーも閲覧が可能です。



トークでメンバー同士のやりとりができる

グループのメンバーに個別に連絡をしたいときは、「トーク」が便利です。Bandグループを作成すると自動的にメンバーが全員参加している全体のトークルームが作成されますが、個人トーク（Sec.47参照）、複数人とのグループトーク（Sec.48参照）も追加で作成できます。トークではメッセージのやりとりはもちろん、写真や動画の共有（Sec.49参照）、ファイルなどの共有（Sec.50参照）、さらに音声通話やビデオ通話もできるため（Sec.57、58参照）、「緊急の連絡をしたい」「顔を見て話したい」「オンライン会議をしたい」というときに活躍します。

● 個別トークができる



● グループトークができる



● 音声通話・ビデオ通話ができる



● 重要なお知らせを固定できる



習い事やサークルなどのグループでは、運営者（リーダー）が各メンバーに個別に連絡を取りたいときもあるでしょう。個人に宛てたトークメッセージは相手にも確認してもらいやすく、グループや予定の管理に役立ちます。



万全のセキュリティで多くの機能が利用できる

BANDでは、グループのメンバー同士での個人情報の交換は不要で、電話番号やLINE IDを他人に知られることはありません（Sec.59参照）。また、グループのメンバー以外は投稿を見ることができないようにしたり（Sec.61参照）、グループへの参加を権限者による承認制にしたりなど（Sec.62参照）、メンバーやグループのプライバシーを守りながら安心して利用できます。そのほかにも、BANDにはグループコミュニケーションに役立つ機能が充実しており、本書では知っておくとさらにグループ活動が便利になる機能や設定、使い方を多く紹介しています。

● 公開範囲が設定できる

Band タイプ設定 確認

秘密
この Band は招待されたメンバーのみ閲覧可能です。Band 検索からの参加はできません。

一部公開
この Band は名前・説明文のみ閲覧可能です。内容は閲覧不可です。招待・Band 検索での参加が可能です。

公開
この Band は全てのメンバーが閲覧可能です。招待・Band 検索での参加が可能です。

● 参加を承認制にできる

安藤 博己
2021年11月17日 申請
追加質問をする

参加拒否 参加許可

● 既読／未確認メンバーを確認できる

既読 4 未確認 1

この投稿を読んだ Band メンバーは 4 人です。
投稿を読んだメンバーはリーダー＆サブリーダーのみ確認できます。

Yuko Hasegawa

ハヤシダ

御代田 真子

● 各機能の利用権限を変更できる

権限設定
夜間写真サークル

Band 名とカバー設定
リーダー＆サブリーダー

お知らせ登録
メンバー全員

投稿を既読したメンバーを見る
メンバー全員

おすすめタグ管理
リーダー＆サブリーダー

BANDはセキュリティに関する国際的な認証や規格（SOC認証、ISO/IEC 27001 など）を取得しています。グループを承認制に設定すれば、グループ外部のメンバーに閲覧されることを防げるので安心して利用できます。

本書に登場する用語や解説について

本書に登場する、BANDにおける用語の定義や使い分けのルールについて説明します。

● 「BAND」と「Band」の違い・使い分け



BAND
サービス、アプリそのものの名称



Band
Band内のグループの名称

BANDでは、「BAND」と「Band」の2つを、別の意味の用語として使い分けています。「BAND」はサービスやアプリそのものを指し、「Band」はBANDにおけるグループのことを指します。なお、解説中で「Band」は「Bandグループ」や「グループ」と表記している場合もあります。

● 「投稿」と「コメント」の定義



投稿
Bandの掲示板にテキストなどを掲載すること



コメント
掲示板の投稿に対して返信すること

「投稿」はBandの「掲示板」にテキストや写真などを新たに掲載・アップロードすることを指し、「コメント」は掲示板の投稿に対する返信メッセージのことを指します。

Memo 本書の特徴や補足など

● 「リーダー機能」タグ

リーダー機能

BANDではさまざまな機能で権限者が割り振られており、一部の機能ではリーダー（Bandの作成者）とサブリーダー（リーダーが指定したメンバー）のみしか利用できない機能もあります。本書では、リーダーのみ操作が可能な項目に上記の「リーダー機能」タグを付けています。

● QRコード



本書では一部の項目で、その機能についてより詳細な解説や便利な使い方を紹介している「BANDガイド」（P.176参照）のWebサイトにアクセスできるQRコードを掲載しています。各QRコードをスマートフォンのカメラやアプリで読み取り、アクセスしてみてください。

